

平成24年8月1日

平成24年度京都府立特別支援学校研究会給食研究部会

生産者から見た地産地消の取組み

精華町農業委員
山本 功

1. 山田区実行組合の、発足から学校支援に至るいきさつ
2. 精華町役場の食育支援体制
3. 山田区実行組合が取り組んできた食育農業体験で特に印象に残るもの
4. 生産者の視点から学校、学校給食に望むこと

農業体験（田植え・稲刈り、芋の苗植え付け・芋掘り等）を南山城支援学校や町内の小・中学校で行っています。農業体験を行うに当たって、条件の合う農地を探し、みんなで体験できるよう工夫しています。子どもが農業や地産地消の大切さを学ぶには、食べることが一番身近なとっかかりになると考え、収穫祭や餅つき等を行っている学校もあります。また、子どもだけでなく調理師の方も、野菜が畑になっている状況を、畑に一度見に行っていたきたいです。地産地消や農業体験について地元のJAや京都府に相談する等して、積極的に取り組んでほしいと思います。

